

伊豆の国市の維持及び向上すべき歴史的風致

計画期間
平成30年度(2018)から平成39年度(2027)

伊豆の国市 歴史的風致 維持向上計画

狩野川流域に位置する伊豆の国市は、温泉資源や田園風景が広がる豊かな自然に恵まれ、原始・古代から近現代にいたる歴史文化資源が重層的に存在している。平安時代末には、源頼朝が鎌倉時代への扉を開き、室町時代には、伊勢宗瑞(北条早雲)が足利氏を攻め滅ぼしたことで、東国の戦国時代の幕開けを決定づけた地となった。また、江戸時代に韭山代官を務めていた江川家があり、幕末期には、江川英龍(坦庵)が出て、「韭山反射炉」などの築造を通じて日本の海防政策を担った。「韭山反射炉」は、「明治日本の産業革命遺産製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産として、世界遺産にも登録されている。伊豆の国市は、歴史を築いた偉人を輩出した地で、歴史的資源にも恵まれ、「重要文化財江川家住宅」の邸内等で受け継がれている「具足開き」や「御会式」などの伝統行事をはじめ、源氏にまつわる「源氏あやめ祭」のほか、山車や神輿が巡行する地域固有の祭礼行事が地域の人々により今日まで継承され、伊豆の国市の歴史的風致を形成している。

1. 韭山代官江川英龍ゆかりの江川邸・韭山反射炉界隈の営みにみる歴史的風致

江川英龍は、江戸時代末期に幕府の代官として民政や海防の分野で活躍し、その多彩な功績と高潔な人柄から、郷土を代表する偉人の一人として市民に親しまれている。英龍を輩出した江川家の屋敷である「江川邸」(重要文化財江川家住宅)では、「具足開き」や「御会式」などの伝統行事が、江川家と地元金谷地区の人々によって営まれている。英龍が製鉄大砲製造のために築造した「韭山反射炉」(史跡・世界文化遺産)は、地元の人々を中心とした保存運動や継続的な顕彰活動を通じて今日まで継承された、伊豆の国市のシンボルである。また、江川邸と韭山反射炉がある地域には、江川家にゆかりのある神社や寺院が複数存在し、祭礼などの営みが続けられてきており、総体として郷土のアイデンティティーの源泉とも言える歴史的風致を形成している。



重要文化財
江川家住宅

史跡韭山反射炉

2. 狩野川をめぐる祭と信仰にみる歴史的風致

市内を北流する狩野川は、農業用水や漁場として豊かな恩恵を与えるとともに、たび重なる洪水によって、流域にたびたび深刻な被害をもたらしてきた。そのため、水難者を慰霊する営みとして、「かわかんじょう」等の祭や、市内各地に建立された慰霊碑での慰霊祭が行われている。これらの習俗は、狩野川と暮らす伊豆の国市の人々の心に、深く根ざした歴史的風致である。

かわかんじょう



3. 北条の里と旧下田街道にみる歴史的風致

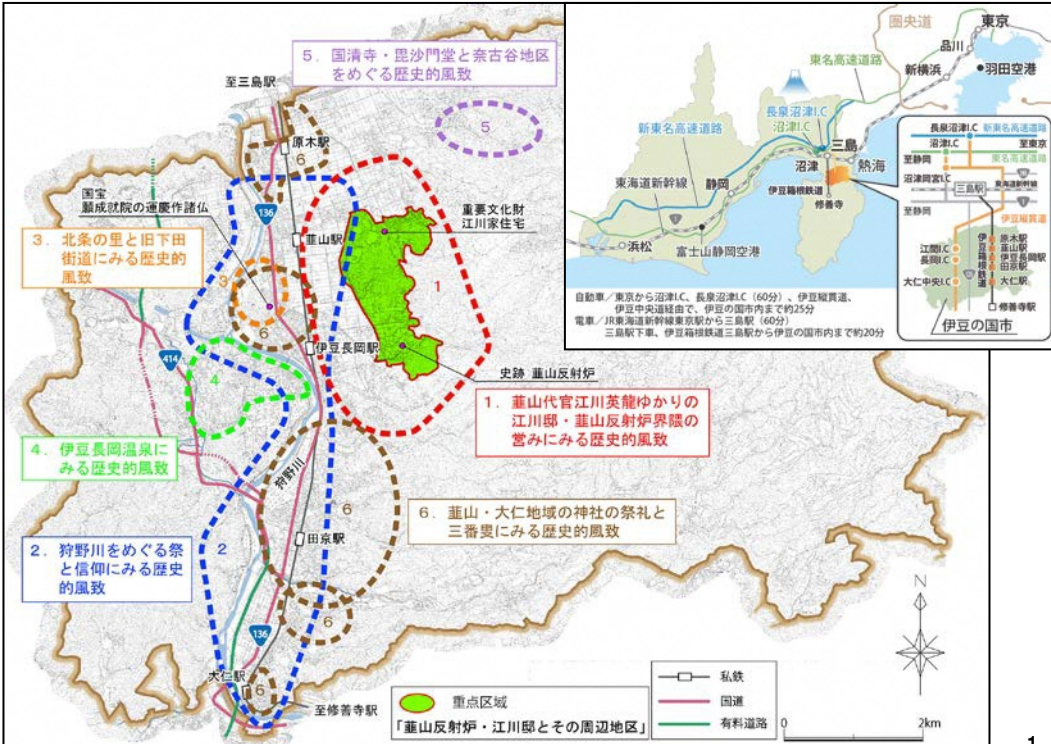
韭山地区の狩野川右岸に位置する守山周辺は、鎌倉幕府の執権として隆盛を誇った北条氏の本拠地であり、北条氏にゆかりの寺院や遺跡が集中していることから、「北条の里」と呼ばれている。また、当時の重要な交通路であった「旧下田街道」が通っている。北条時政の発願によって建立された願成就院には、国宝「運慶作諸仏」が安置されており、毎月28日の夕刻「不動の日祈禱祭」が営まれている。「守山八幡宮」の例大祭や、眞珠院の「八重姫供養祭」等の伝統行事も含め、北条の里にまつわる歴史的風致が形作られている。

不動の日祈禱祭



▽伊豆の国市の維持及び向上すべき歴史的風致

▽伊豆の国市の位置図



4. 伊豆長岡温泉にみる歴史的風致

鎌倉時代から続く「古奈温泉」と、明治期に湧出した「長岡温泉」を合わせた「伊豆長岡温泉」では、「三養荘本館(旧岩崎久彌別邸)」や「古奈別荘」等、昭和初期の近代和風建築が残る街並みの中に、「伊豆長岡見番」を中心として芸妓文化が継承されている。また、平安時代の武将「源頼政の妻「あやめ御前」が古奈の出身であることにちなんで、80年以上にわたって「源氏あやめ祭」が開催されている。



芸妓衆の踊り

5. 国清寺・毘沙門堂と奈古谷地区をめぐる歴史的風致

市内北東部の奈古谷地区には、臨濟宗の古刹「国清寺」と、その祠堂である「毘沙門堂」がある。毘沙門堂では、1月3日に「だるま市」が行われており、毘沙門堂へと続く「毘沙門道」は、だるまを求める参詣者が多数行きます。奈古谷集落内の「観音堂」では、毎月17日の夜、地元的女性たちによる「観音講」が開かれています。



毘沙門堂だるま市

6. 韭山・大仁地域の神社の祭礼と三番叟にみる歴史的風致

韭山地域原木の荒木神社、寺家の守山八幡宮、大仁地域田京の広瀬神社、三福の熊野神社大仁の大仁神社には、能楽「翁」に由来する民俗芸能「三番叟」が伝承されている。五穀豊穡を願うものとして、秋の例大祭で奉納される三番叟は、神輿や山車の巡行とともに、地域の人々により、大切に伝えられている。



守山八幡宮 三番叟

伊豆の国市の重点区域における施策・事業概要

重点区域名称と面積
「葦山反射炉・江川邸とその周辺地区」
約 200ha

●伊豆の国市の歴史的風致における重点区域

「1 葦山代官江川英龍ゆかりの江川邸・葦山反射炉界隈の営みにみる歴史的風致」のうち、史跡葦山反射炉を中心とする中地区、重要文化財江川家住宅を中心とする葦山山木・葦山金谷地区、土手和田・南條地区及びこれらを結ぶ範囲を「**葦山反射炉・江川邸とその周辺地区**」として、重点区域に設定する。



◇重点区域における事業

(1) 歴史的建造物の保存・活用の推進に関する事業

(2) 歴史・伝統を反映した活動の継承と活性化に関する事業

(3) 歴史文化資源の保存・活用の推進に関する事業

(4) 歴史文化を生かした観光振興等による地域の活性化に関する事業

(5) 住民等の理解と参加・協働による取組に関する事業

(3)-10 葦山城跡総合調査事業

現在未指定である葦山城跡の国史跡指定を目指し、その本質的価値を明らかにするため、総合調査を実施する。

市内全域（主に6つの歴史的風致）を対象とした事業

(2)-4 無形文化財記録作成・保存事業

(2)-5 地域に根付いている祭事に対する運営支援事業

(3)-8 史跡北条氏邸跡（円城寺跡）保存整備事業

(3)-9 史跡公園整備事業「守山中世史跡群」PFI事業

(4)-13 長岡温泉街の中心部を通る道路の美装化事業

(4)-14 民有地における伊豆長岡温泉活性化に向けたまちづくり・賑わいづくり創出事業

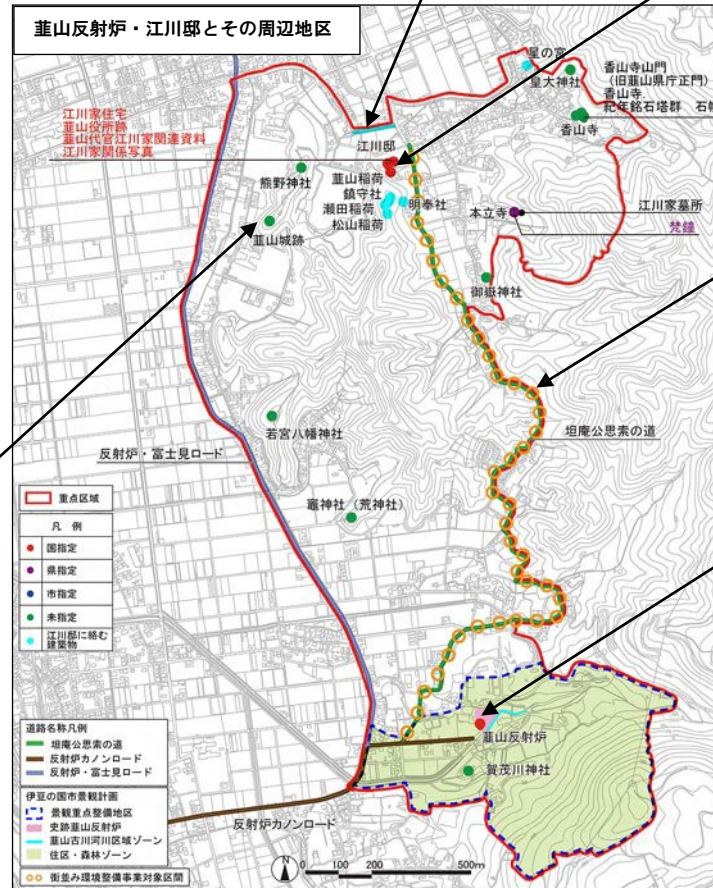
(4)-15 公共サイン整備事業

(4)-16 市内民俗芸能・祭典等実施事業

(4)-12 重点区域における景観を阻害する電柱の撤去・移設事業

重要文化財江川邸から眺める富士山の景色を阻害する電柱電線類の撤去・移設を行い、周辺の風景に調和した景観を確保する。

▼景観の阻害



江川邸に関する事業

(1)-1 江川文庫収蔵施設建設事業

葦山代官江川家関係資料・江川家関係写真を保存管理するための収蔵施設を建設する。

(1)-2 江川邸周辺の歴史的風致形成建造物保全事業

江川邸周辺地区内に点在している歴史的建造物（葦山稲荷、松山稲荷、瀬田稲荷、明奉社、星の宮）について、維持保全を図るために、必要に応じ補修及び修復を行う。

(3)-6 (重文) 葦山代官江川家関係資料美術工芸品保存修理等事業

「葦山代官江川家関係資料」の保存修理を実施する。

(3)-7 史跡葦山役所跡保存活用計画策定事業

重要文化財江川家住宅を含む史跡葦山役所跡について、適切な保存と維持管理及び活用の方針・手法・現状変更の取扱基準等を定める。

(4)-11 江川邸と葦山反射炉を結ぶ道路の美装化事業

重要文化財江川邸と葦山反射炉を結ぶ南北の道で、道路愛称「**たんなん** 坦庵公忠索の道」と名付けられている自然豊かな歩行者道路を歴史の散歩道にふさわしい景観とするため、周辺の風景に調和した道路の美装化を行う。

葦山反射炉に関する事業

(1)-3 史跡葦山反射炉保存修理事業・史跡葦山反射炉整備事業

煉瓦部分の劣化が進行している葦山反射炉本体の保存修理工事を実施する。また、史跡内に所在した製砲工場（遺構）の発掘調査を行い、成果に基づいて史跡整備を実施する。

▼葦山反射炉



(5)-17 市民組織の活動費補助事業

葦山反射炉の普及啓発・広報活動を積極的に行っている市民組織等に対し、支援を行う。

観光客に説明をする伊豆の国歴史ガイドの会▶

